

農村女性による起業活動実態調査の概要

I 調査の目的及び実施方法

本調査は、農村女性による農林漁業関連起業活動（以下「女性起業」という。）の実態を把握し、今後の起業活動の支援策の検討に資するため、全国の普及指導センターの協力を得て実施した。（平成20年5月実施。調査対象については、「別紙」参照。）

II 要旨

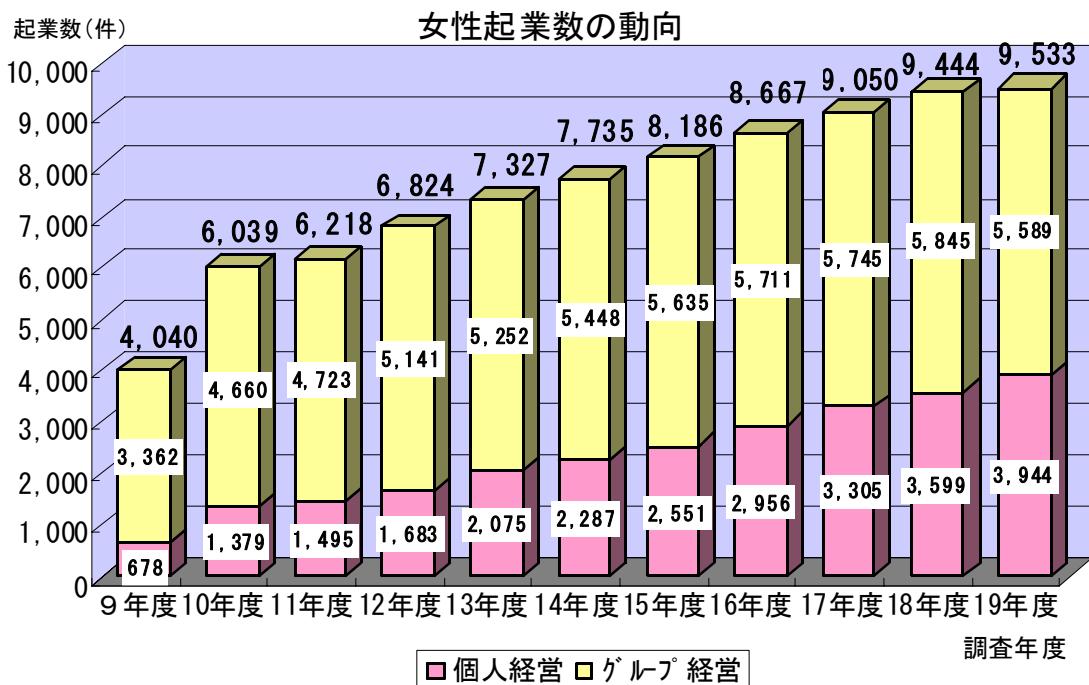
農村女性による起業活動の実態

① 女性起業の数は全国で9,533件

平成19年度の起業数は、全国で9,533件となり、平成9年の調査開始以来、年々増加している。このうちグループ経営は、58.6%と大半を占めるものの、調査開始以来初めて、前年度調査時より減少した。一方、近年は、個人経営の伸び率が高くなっている。

（単位：件、%）

調査年度	個人経営	グループ経営	合計	うち法人
平成19年度 (構成比)	3,944 (41.4)	5,589 (58.6)	9,533 (100.0)	459 (4.8)
前年度 (構成比)	3,599 (38.1)	5,845 (61.9)	9,444 (100.0)	401 (3.8)



② 地域農産物を利用した食品加工が中心

活動内容は、食品加工が74.4%と大半を占め、朝市などの販売・流通が43.0%と、農村女性ならではの地域の味づくり、地場産農産物の地産池消の推進に向けた取組が多く見られる。(複数回答)

(単位：件、%)

調査年度	農業生産	食品加工	食品以外 の 加 工	販売・流通	都市との 交 互	サービス 事 業	その他の 事 業	不 明
平成19年度 (構成比)	1,554 (16.3)	7,091 (74.4)	314 (3.3)	4,103 (43.0)	1,216 (12.8)	94 (1.0)	76 (0.8)	16 (0.2)
前 年 度 (構成比)	1,553 (16.4)	7,087 (75.0)	342 (3.6)	4,146 (43.9)	1,039 (11.0)	56 (0.6)	60 (0.6)	24 (0.3)

※ 上記各類型については、「別紙」参照。

③ 規模は零細

売上金額は、年間売上げ300万円未満が55.1%と、零細な経営が大半であるが、5,000万円以上のものが前年に比べ25件増加している。

(単位：件、%)

調査年度	300万円 未満	300～500 万円未満	500～1,000 万円未満	1,000～5,000 万円未満	5,000 万円以上	不 明
平成19年度 (構成比)	5,250 (55.1)	1,086 (11.4)	1,085 (11.4)	1,041 (10.9)	243 (2.5)	828 (8.7)
前 年 度 (構成比)	5,600 (59.3)	1,126 (11.9)	1,050 (11.1)	1,054 (11.2)	218 (2.3)	396 (4.2)

④ 活動期間は比較的短い

平成12年以降に活動を開始したものが45.9%を占めている。

(単位：件、%)

経営開始年	平成元年 以前	平成2～ 6年	平成7～ 11年	平成12～ 16年	平成17年 以降	不 明
平成19年度 (構成比)	1,295 (13.6)	1,149 (12.1)	2,284 (24.0)	3,041 (31.9)	1,333 (14.0)	431 (4.5)
前 年 度 (構成比)	1,396 (14.8)	1,338 (14.2)	2,458 (26.0)	3,201 (33.9)	753 (8.0)	298 (3.2)

⑤ 活動の中心年齢層は、50～60代

構成員（個人経営含む）の平均年齢は、60～69歳（43.6%）、50～59歳（30.3%）のこれらの2つの年齢層で全体の約75%を占めている。

（単位：件、%）

平均年齢	29歳未満	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	不明
平成19年度 (構成比)	20 (0.2)	110 (1.2)	490 (5.1)	2,893 (30.3)	4,160 (43.6)	1,230 (12.9)	630 (6.6)
前 年 度 (構成比)	15 (0.2)	104 (1.1)	539 (5.7)	3,142 (33.3)	4,058 (43.0)	1,019 (10.8)	567 (6.0)

⑥ グループ経営における構成員数

構成員数は、10人未満のグループが、全体の55.2%と過半を占めている。

（単位：件、%）

調査年度	10人 未満	10～ 19人	20～ 29人	30～ 39人	40～ 49人	50～ 99人	100人 以上	不明
平成19年度 (構成比)	3,084 (55.2)	1,285 (23.0)	418 (7.5)	195 (3.5)	125 (2.2)	239 (4.3)	138 (2.5)	105 (1.9)
前 年 度 (構成比)	3,095 (53.0)	1,421 (24.3)	477 (8.2)	222 (3.8)	137 (2.3)	256 (4.4)	140 (2.4)	97 (1.7)

⑦ 女性起業数の上位都道府県

女性の起業数の上位10道県は、秋田県、宮城県、長崎県の順になっている。なお、秋田県については、6年連続1位を占めている。

1位 秋田県（442件）
2位 宮城県（414件）
3位 長崎県（399件）
4位 岩手県（388件）
5位 熊本県（372件）

6位 千葉県（369件）
7位 愛媛県（362件）
8位 山形県（353件）
9位 新潟県（352件）
10位 福島県（346件）

農村女性による起業活動実態調査の対象

(1) 農村在住の女性が中心となって行う、農林漁業関連起業活動であること。
具体的には、

- ①使用素材は、主に地域産物であること。
- ②女性が主たる経営を担っているものであること。

(2) 本調査の対象とする「女性起業」は、女性の収入につながる経済活動であること（全くの無報酬であるボランティア活動を除く。）。

の2要件を充たすものとし、活動内容として以下の7類型を設定。

類型1 <農業生産>…………農業生産に直結した活動（女性が中心の作目経営等で、家族経営協定等で部門分担が明確化され、それが女性の収入となっていること。）

類型2 <食品加工>…………農・林・畜・水産物を利用した食品加工（ジャム、漬物、和菓子、パン 等）

類型3 <食品以外の加工>…食品以外の農・林・畜・水産物を利用した加工（ドライフラワー、フラワーアレンジメント等）

類型4 <流通・販売>……朝市等による農・林・畜・水産物、加工品の流通販売（朝市・直売市、ふるさと宅配便等）

類型5 <都市との交流>……観光農園、農村レストラン等の活動（農林漁業・農山漁村環境を活かした都市との交流：体験農園・観光農園の経営、農林漁業体験民宿業の経営等）

類型6 <地域生活関連サービス>……高齢者介護・子育て等農村における地域生活関連サービス（地域産物を活かした弁当の宅配、地域産物を活かした食事を提供する保育所の開設運営・デイサービス等）

類型7 <その他>……農林漁業関連起業活動であって、類型1～6に区分できないもの